



# 浜田林業部トピックス(6月号)



## TOPICS 1

## アライグマ、浜田で勢力拡大中！！防ぐなら今のうち！

アライグマは元来日本には生息していない動物ですが、ペットや動物園での飼育目的で日本に持ち込まれたものが、逃げ出したり捨てられたりし、野生化しました。現在では全国的に生息域を広げつつあり、特定外来生物に指定されています。島根県では県西部から生息域が徐々に拡大しており、浜田管内でも三隅町を中心に生息・繁殖が確認されていましたが、今年度初めて旧浜田市内での繁殖が確認されました。着々と生息域が広がっている事が考えられます。

### <アライグマってどんな動物？>

尾がしま模様！ 眉間から鼻筋が黒い！ 木登りが得意！



繁殖力が強く、1回の出産で3～5頭生み、1歳程度で繁殖可能になります。

### <アライグマが増えると何でダメなの？>

- ・農作物や家の中の食べ物などに被害が出ます。

雑食性で何でも食べます。(農作物、犬猫の餌、金魚、鯉など)

手先が器用な動物です。家屋に入り込み、戸や引き出しを開けて人間の食べ物を食べます。

- ・気性の荒い動物のため、むやみに手を出すとケガにつながる恐れがあります。

人にも感染する病気を持っている可能性があります。

- ・家屋の屋根裏などに入り被害を発生させます。(糞尿による悪臭、巣材利用の為の断熱材破壊など)

### <こんな痕跡があったら、アライグマがいるかも！>

- ・天井裏で大きな足音がする。

⇒タヌキやアナグマは天井裏に侵入することは稀。

テンやイタチは体重が軽く足音が小さい。

(テン：0.7～1.9kg程度、イタチ：0.1～1.5kg程度、アライグマ4～10kg程度)

- ・スイカに丸い穴があいていて、中身が無い。

⇒歯で穴を開け、手で中身を掻き出して食べる。

手先の器用な動物。

- ・家や畑に5本指の足跡がある。

⇒タヌキ：4本指、

アナグマ：5本指だがアライグマより指が短い。



アライグマの食痕



アライグマの足跡

### <アライグマがいるかも？と思ったら>

生息数が増えてからの対策は困難であり**早期の捕獲対策が必要**となるため、県ではアライグマの目撃や捕獲、被害発生情報を収集しています。

アライグマを目撃・捕獲された場合(捕獲には「捕獲許可」が必要です。)や被害が発生した場合は、西部農林振興センター林業振興課(0855-29-5604)までご連絡をお願いします。

# 浜田林業部トピックス(2月号)

## TOPICS 1

### アライグマ、浜田市内で生息域拡大中！

浜田林業部トピックス(令和2年6月号)でもお知らせしましたが、島根県では県西部からアライグマの生息域が徐々に拡大しており、浜田管内でも三隅町を中心に生息・繁殖が確認されています。令和2年6月に旧浜田市内でのメスの捕獲、繁殖が初めて確認されました。現在も三隅町を中心に捕獲が多く、現時点では浜田管内で29頭も捕獲されています(R1年度は11頭)。

#### <メスが捕獲された！その意味は？>

アライグマの生息域拡大の順序は「オスの侵入・定着→メスの侵入・定着→繁殖」の順だと言われています。元々行動範囲の広いオスが新たなエリアへ侵入を始め、それに続いてメスの侵入が徐々に始まり定着していきます。メスが定着するようになると、そのエリアでの繁殖(出産・子育て)が見られ、エリア内で個体数が増えていきます。今までアライグマがいなかったエリアでメスがみられる様になると、その動物の定着が進んでいる目安になります。

#### <アライグマが増えると何でダメなの？>

アライグマは元来日本には生息していない動物です。ペットや動物園での飼育目的で日本に持ち込まれたものが、逃げ出したり捨てられたりし、野生化しました。現在では全国的に生息域を広げつつあり、日本在来生物を捕食する等、生態系に悪影響を及ぼしています。アライグマは外来生物法により「特定外来生物」に指定されており、飼養や輸入等を禁止し、被害発生を防止するための防除を行うことが規定されています。

#### <身近な被害>

- ・農作物や家の中の食べ物などに被害が出ます。  
雑食性で何でも食べます。(農作物、犬猫の餌、金魚、鯉など)  
手先が器用な動物です。戸や引き出しを開けることがあります。
- ・気性の荒い動物のため、むやみに手を出すとケガにつながる恐れがあります。  
人にも感染する病気を持っている可能性があります。
- ・家屋の屋根裏などに入り被害を発生させます。(糞尿による悪臭、巣材利用の為の断熱材破壊など)

#### <アライグマがいるかも?と思ったら>

生息数が増えてからの対策は困難であり早期の捕獲対策が必要となるため、県ではアライグマの目撃や捕獲、被害発生情報を収集しています。アライグマを目撃・捕獲された場合(捕獲には「捕獲許可」が必要です。)や被害が発生した場合は、西部農林振興センター林業振興課(0855-29-5604)までご連絡をお願いします。

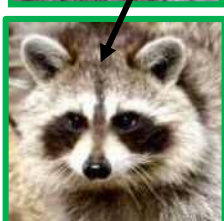
#### <アライグマの特徴>



眉間から鼻筋が黒い



しま模様の尾



眉間から鼻筋が白い

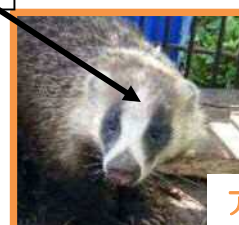
#### <アライグマに似ている動物>



タヌキ



模様が無い尾



アナグマ



令和3年2月21日（日）に浜田市金城町波佐にて鳥獣対策勉強会を実施しました。今回の勉強会は地域ぐるみでの鳥獣対策実施に向け農事組合法人「ひやころう波佐」が企画したもので、鳥根県西部農林振興センターの鳥獣専門員が講師を務めました。勉強会ではイノシシの生態や人里に出てくるようになった経緯、防護柵の点検ポイント等を動画を交えながら説明しました。ひやころう波佐の皆さんは鳥獣対策に意欲的に取り組まれており、さっそく勉強会の後に防護柵の点検をされたとのこと。今回は座学での勉強会でしたが、次回は現地を見ながらそれぞれの地形条件、被害状況に合わせた対策研修を行う予定です。引き続き、野生動物との棲み分け、適切な鳥獣対策を行えるようサポートしていきます。







# 浜田林業部トピックス(8月号)

## TOPICS 1

## アライグマの生息範囲が広がっています！

### 【増えるアライグマ】

県西部においてアライグマの生息域が徐々に拡大しています。今まで生息が確認されていなかった浜田市弥栄町や金城町で初めてアライグマが捕獲され、江津市でも約10年ぶりに目撃されています。

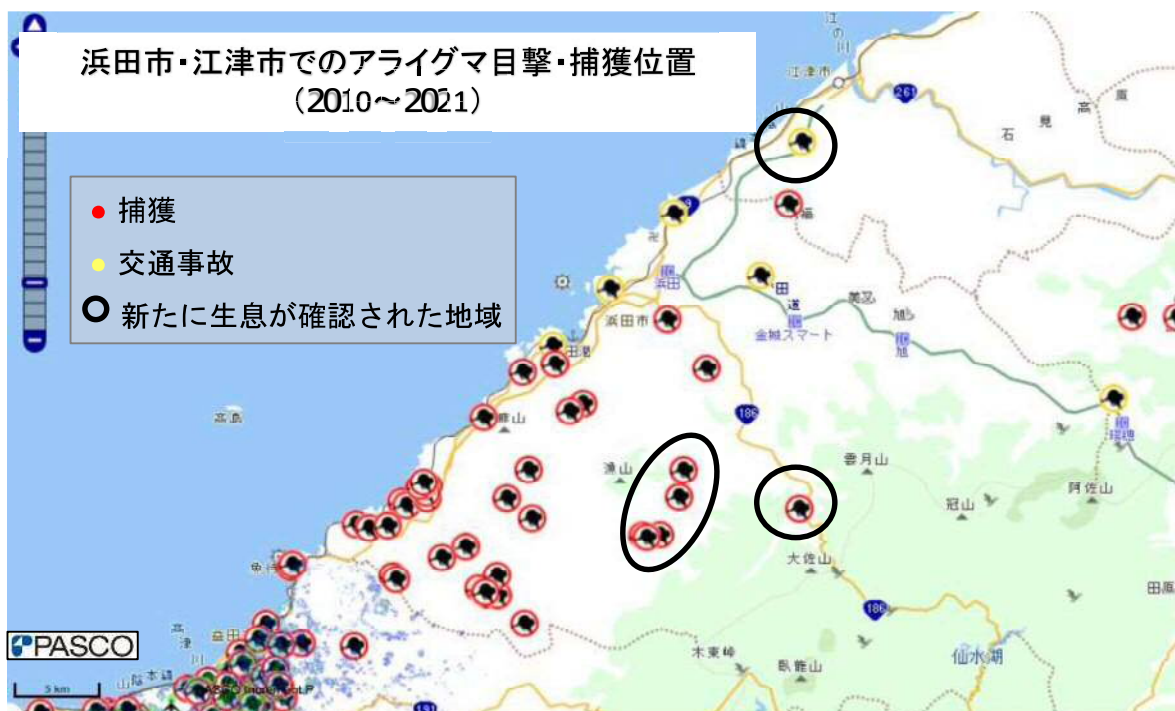
当センターではイノシシ対策講習会等の機会を利用して、アライグマの見た目や被害の特徴を説明し、注意喚起を行っています。アライグマは農作物被害だけでなく、家屋侵入など、一般の方にも関係する被害を発生させます。そのため、農家の方に限らず、広くアライグマへの関心を高める働きかけをしています。

### 【身近に潜むアライグマ】

アライグマは特定外来生物に指定されており、根絶が最終目標です。夜行性であり、アライグマの存在があまり知られていないことから、目撃情報が集まりにくい現状があります。目撃情報があった地点にすぐに捕獲オリを置くことが、捕獲率の上昇、生息域拡大を防ぐことにつながります。生息域の拡大を防ぎ、増殖を防ぐためには**早期の捕獲対策が必要**です。初めて生息が確認された弥栄町や金城町では、地域の皆様からの目撃情報がきっかけとなり、迅速な対応をとることが出来、捕獲に成功しています。アライグマを見かけたら下記までご連絡ください！！

西部農林水産振興センター林業振興課 電話：0855-29-5604

アライグマ詳細についてはこちら→「アライグマを見かけたらご連絡を」  
R2.6林業部トピックス「アライグマ、浜田で勢力拡大中！！防ぐなら今のうち」  
R3.2林業部トピックス「アライグマ、浜田市内で生息域拡大中！」



# ⚠️ アライグマを見かけたらご連絡を ⚠️

農作物、家屋に被害が出る可能性があります

## 〈アライグマの特徴〉

- ・顔はタヌキに似ているが、尾に**しま模様**がある。
- ・長い5本の指があり、柵や柱なども器用に登る。



## 〈農業被害〉

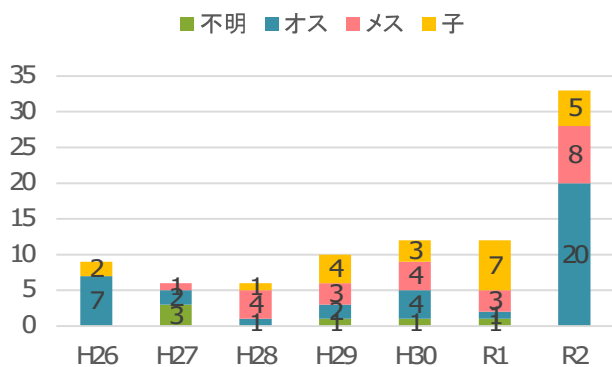
- ・スイカに丸い穴があいていて、中身がない。
- ・ブドウ、桃、柿などの果樹に爪あとがついている。
- ・ブドウを房の上から食べられている。

## 〈家屋侵入被害〉

- ・屋根裏に犬のフンのようなものがたくさんある。
- ・天井に大きな白いシミができています(糞尿被害)。
- ・柱に釘でひっかいたような深さの爪跡がある。
- ・池の金魚やコイ、カメが食べられた。

※アライグマは伝染病を持っている可能性がありますので、むやみに近寄らず西部農林水産振興センターや市役所にご連絡下さい。

## アライグマ捕獲数の推移



- ・令和2年度は過去最多、例年の約**3倍**のアライグマが捕獲された(33頭)。
- ・今まで捕獲されたことのなかった旧浜田市、弥栄町、金城町でも次々目撃・捕獲あり。
- ・**江津市**でも約10年ぶりに目撃情報あり。
- ・R3/9/1までに、すでに18頭を捕獲(昨年を上回るペース)。

迅速な情報提供が増加を防ぎます。姿や痕跡を見かけたらご連絡をお願いします！  
島根県 西部農林水産振興センター 林業振興課：0855-29-5604